

令和7年度 2学期終業式

第三中学校という大きな船が、77日間の2学期という旅を終え、冬休みという港へ到着しました。1学期の始業式から数えて149日となります。

皆さんは三中という船の中で、切磋琢磨し合いながら成長を続けてきました。学校生活という大海原での航海では、穏やかに波風立たずな日もあれば、嵐に遭遇して心が揺れたりザワザワしたりした日もあったと思います。しかし、三中という船のクルー全員が大きな事故もなく、こうして今日という日を迎えられたのも、ひとえに皆さんの協力によるものだと感謝しています。

ここで、船員を代表して、尾崎さんに2学期を振り返ってもらいましょう。

2学期も、皆さんがそれぞれの持ち場で一生懸命努力している姿をたくさん見させていただきました。1年生は高原学校、2年生は職場体験学習、3年生は修学旅行、そして金賞の向こう側を目指した、三中全員の全員による全員のための素晴らしい音楽祭。また、中体連新人大会や駅伝大会、さらにはアンサンブルコンテストでの皆さんの躍動も、私の心を震わせ、シビれさせていただきました。その他行事や日々の活動で、真剣に取り組む姿、チームのために汗を流す姿、そして何より、友達と協力し、助け合う姿。皆さんの頑張り一つ一つが、三中という大きな船を前へ前へと進める原動力となっていました。

さて、始業式に2つの言葉を皆さんに託しました。

1つ目は「自分はできると信じる心を持つ」という言葉。失

敗を恐れず、気にせず、自信を持って一步踏み出すことはできたでしょうか。

2つ目は「共に高め合う仲間との絆」という言葉。行事を通じて、仲間や先生との絆を深め、全力で楽しめたでしょうか。仲間の違う面を尊重し、個性を大切にしながら、友情を深められたでしょうか。

全てが上手くいくとは限りませんし、上手くいくことの方が少ないのが人生です。失敗から学び、失敗を次へと活かし、それにより成長したという実感を繰り返し持てるようにしていくことで、自分の心が豊かになっていきます。校長として私が皆さんに託した言葉の意味を今一度考え振り返ってもらえるとうれしいです。

冬休みという港での休息時間は短いですが、個を伸ばす最良の時期になります。ぜひ各自目標をもち、その目標を必ず成し遂げるという強い気持ちで、自分の力を向上させてきてください。特に3年生はやればやるほど学力が身に付き伸びる期間です。自分是可以る・自分は合格するという信念を持って有意義に時間を使ってください。くれぐれも、「白黒」「赤」「白」の3つの車のお世話にならないことを心から願っています。

結びに、この2学期に皆さんが見せてくれた努力と成長は、素晴らしく、とても尊いものでした。ありがとう。

また、これまで生徒たちを一所懸命支援してくれた先生方にも感謝いたします。

生徒の皆さんは、この先生たちを信じ協力して、3学期も前に進んでいきましょう。

1月7日、3学期始業式に、お互い心身共に元気な姿で再会しましょう。